

2020年度 第2四半期決算

イオン株式会社

連結業績概況

連結業績（上半期 6か月）



- ・営業利益、経常利益段階での黒字を確保
- ・会社想定の上方で着地

(億円)

	前期実績	当期実績	前期比・差
営業収益	42,902	42,705	-0.5%
営業利益	863	339	-524
経常利益	797	279	-517
親会社株主に帰属する 四半期純利益	37	- 575	-613

連結業績（第2四半期 3か月）



- ・営業収益は増加に転じる。営業利益、経常利益は黒字
- ・減益幅を大きく改善

(億円)

	第1四半期		第2四半期	
	実績	前期比・差	実績	前期比・差
営業収益	20,762	-1.9%	21,942	+0.9%
営業利益	-125	-402	464	-121
経常利益	-160	-403	440	-114
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-539	-496	-35	-117

セグメント別業績（営業収益）



- ・食品・衛生用品等の生活必需品ニーズに対応
- ・営業再開、規制の緩和に伴い回復基調

【営業収益】

(億円、%)

	営業収益	前期比		
		上半期	うち第1四半期	うち第2四半期
連結合計	42,705	-0.5	-1.9	+0.9
SM	17,128	+6.7	+8.4	+5.1
ヘルス&ウェルネス	4,810	+11.2	+10.0	+12.4
GMS	14,791	-3.3	-6.4	-0.4
ディベロッパー	1,483	-19.7	-31.6	-7.7
サービス・専門店	3,044	-20.1	-27.1	-13.7
総合金融	2,304	-3.7	-4.5	-3.0
国際	2,184	-2.1	+1.8	-6.4

**大幅増収を
継続**

**売上トレンド
回復基調**

セグメント別業績（営業利益）



- ・7事業中6事業が増益又はトレンド改善。SMとヘルス&ウェルネスが業績を牽引
- ・GMS事業の第2四半期（3か月）は、ほぼ前年並みの水準まで戻す

【営業利益】

（億円）

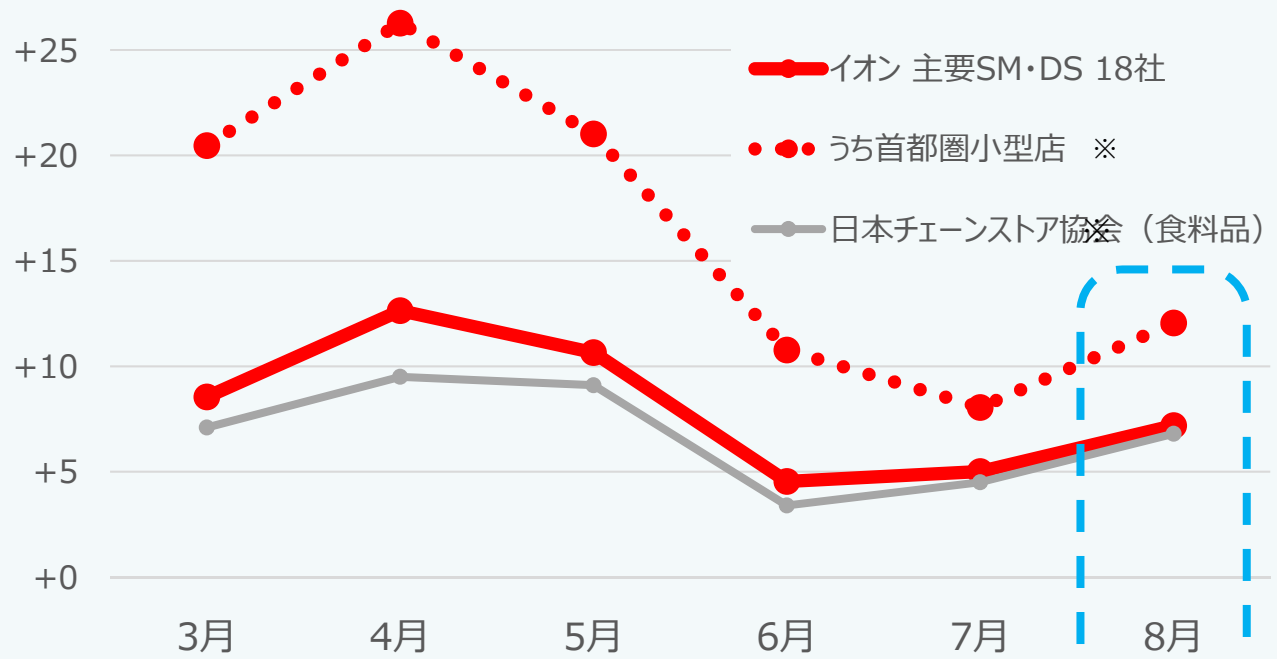
	営業利益	前期差			
		上半期	うち第1四半期	うち第2四半期	
連結合計	339	-524	-402	-121	
SM	320	+292	+199	+92	大幅増益を 継続
ヘルス&ウェルネス	255	+83	+23	+59	
GMS	-354	-279	-275	-4	大幅に トレンド回復
ディベロッパー	129	-173	-127	-45	
サービス・専門店	-147	-166	※ -40	-126	
総合金融	87	-255	-171	-83	
国際	21	-19	-3	-16	

・緊急事態宣言の解除後も好調な売上を維持。首都圏の小型店が牽引

営業利益
前期差 (億円)

+292

【SM主要会社 売上既存比 月次推移】 (％)



お盆期間の売上状況 (8/7~16の売上既存比)

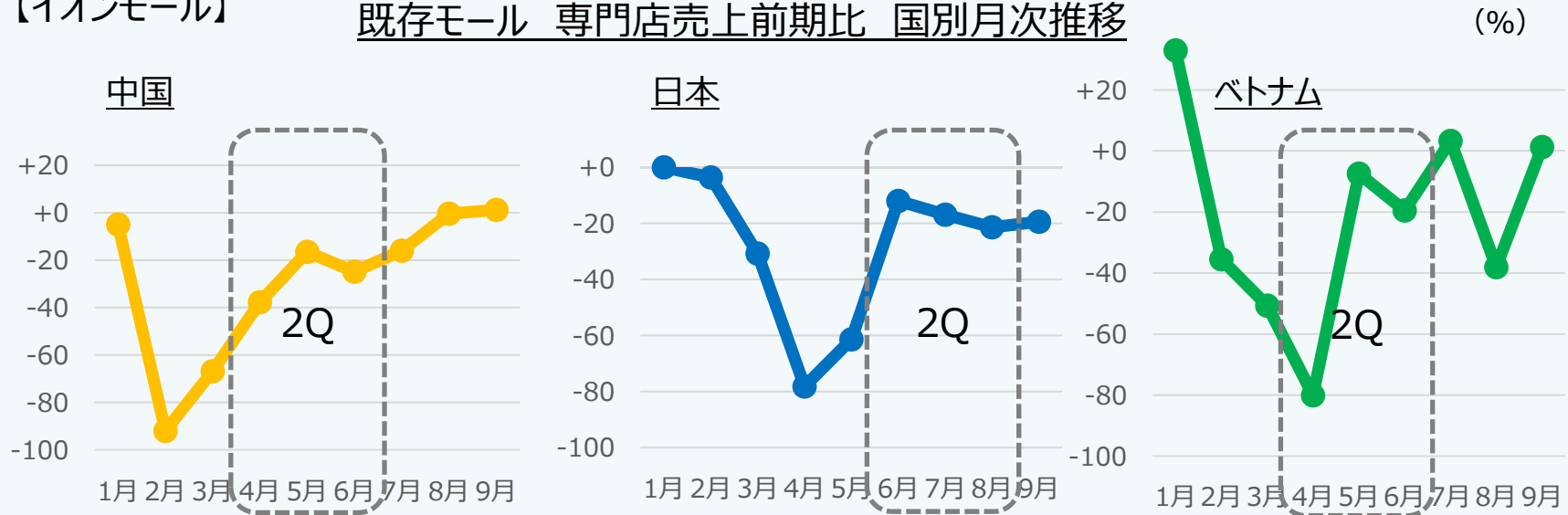
	アコレ	ビッグ・イー	まいばすけっと
売上既存比	+23.5	+21.9	+11.5

※アコレ、ビッグ・イー、まいばすけっと

- ・各エリアともに回復基調。
- ・デジタルを活用した新たな施策に取り組みテナントさまを支援

【イオンモール】

既存モール 専門店売上前期比 国別月次推移



デジタルを活用した新たなイベント体験、販売機会の提供

中国

ライブコマース：テナント従業員等によるライブ動画を配信し、オンライン販売



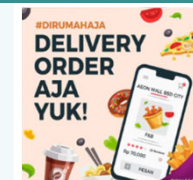
日本

複数のモールをオンラインで接続し、同時参加可能なイベントを開催



アセアン

コロナ禍の影響が大きい飲食テナントへの営業支援



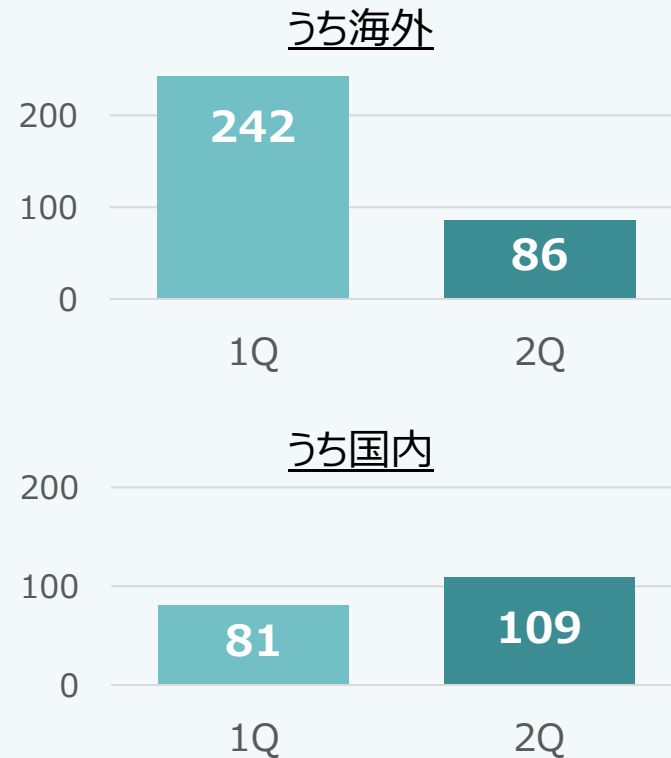
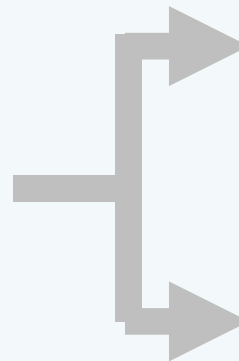
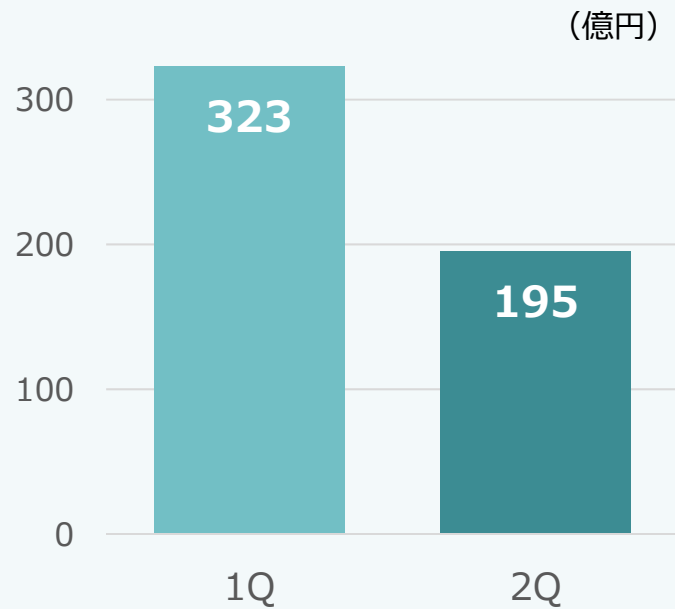
- ・貸倒関連費用が第1四半期対比で大幅に減少。海外で回収が進む。
- ・国内でも引当を積み増し、将来リスクに対処

(億円)

総合金融事業	第1四半期		第2四半期	
	実績	前期比・差	実績	前期比・差
営業利益	-6	-171	93	-83

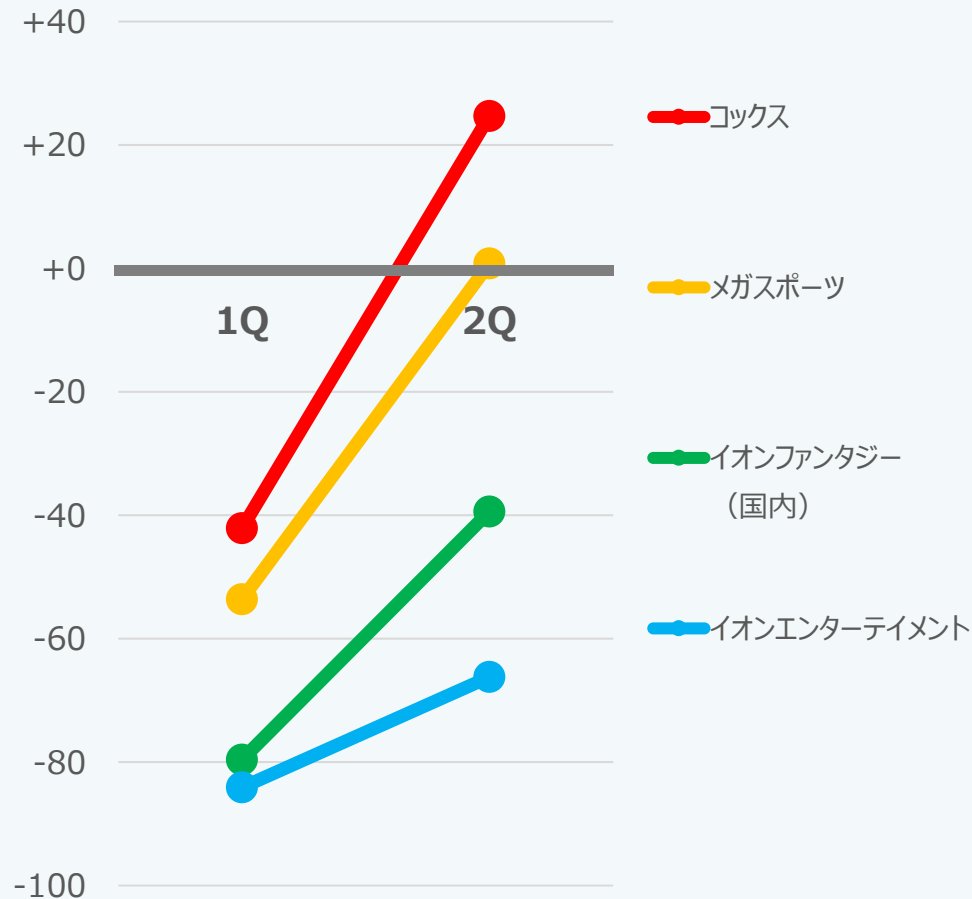
【貸倒関連費用の推移】

イオンフィナンシャルサービス計



- ・マスク販売強化など、変化対応した専門店の2Q売上は前年水準を超過
- ・アミューズメント各社も回復基調

【主要各社の売上前期比】



コックス

4月から矢継ぎ早にオリジナルマスクを販売し売上増に寄与。連動してEコマースも好調で増収増益に転じる。9月にはファッションマスク専門店「Mask.com」をオープン



メガスポーツ

アウトドア商品強化店舗の売上が大きく伸長し増収に転じる

イオンファンタジー

中国では8月の売上が前年の約8割まで回復

イオンエンターテイメント (イオンシネマ)

9月は前年の約6割まで回復。延期された新作人気映画が今後順次公開へ

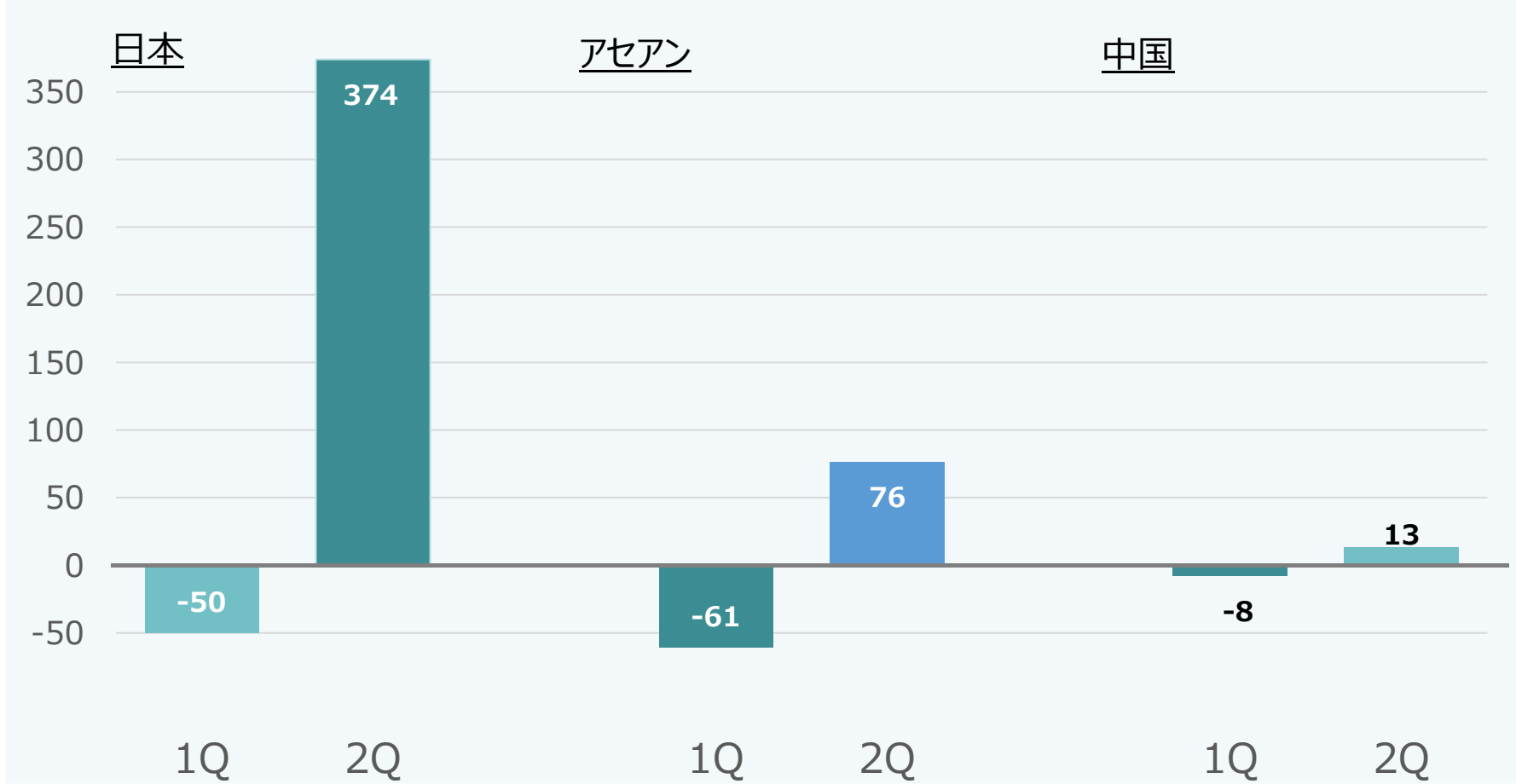
エリア別営業利益



- 全てのエリアで、第1四半期の赤字から第2四半期は黒字に転じる
- アセアンは総合金融事業、中国はディベロッパー事業が業績回復を後押し

【エリア別営業利益の四半期推移】

(億円)



・コロナ対策と並行し、従前より掲げていた諸改革を着実に推進

戦略的整理・統廃合

- ・株式売却・・・ツヴァイ、イオンフォレスト（ザ・ボディショップ）
- ・事業終了・・・タルボットジャパン、クリアーズ日本

新規事業 (デジタルシフト)

- ・6月よりスポーツEC事業開始（イオン・シグナ・スポーツ・ユナイテッド）
<https://www.aesigna-sportsunited.co.jp/>

SM改革 (リージョナルシフト)

- ・3月：北海道、東北、近畿にて地域各社が経営統合
- ・9月：九州にて経営統合（イオン九州、マックスバリュ九州、イオンストア九州）
- ・2021年3月：中・四国にてマックスバリュ西日本、マルナカ、山陽マルナカが合併予定

コンビニエンスストア事業 の新たなビジネスモデル

- ・従来の「フランチャイズ契約」から、事業利益を分け合う「ミニストップパートナーシップ契約」へ（2021年9月～）

2020年度 業績予想

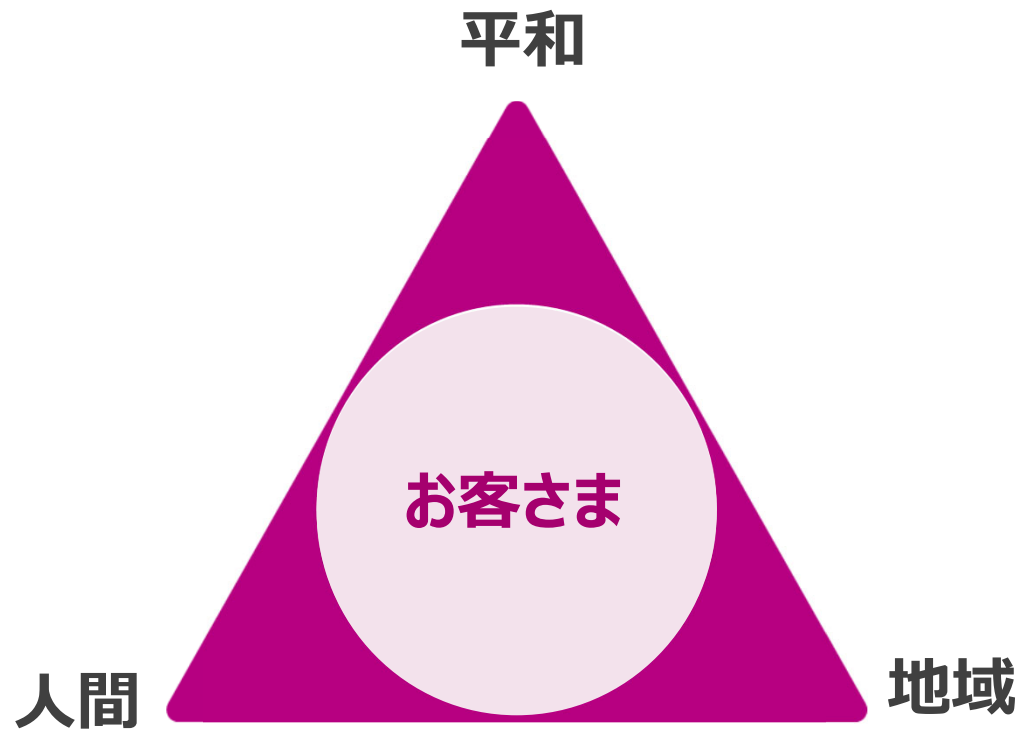


- ・国内の新規感染者数は減少傾向も、海外では拡大が続く。
- ・上期累計では予想幅の上方で推移するも、消費マインド、景気の先行きは不透明

(億円)

	予想	前期比・差
営業収益	80,000 ～84,000	▲7.0% ～▲2.4%
営業利益	500 ～1,000	▲1,655 ～▲1,155

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。



平和：イオンは、事業の繁栄を通じて、平和を追求し続ける企業集団です。

人間：イオンは、人間を尊重し、人間的なつながりを重視する企業集団です。

地域：イオンは、地域の暮らしに根ざし、地域社会に貢献し続ける企業集団です。

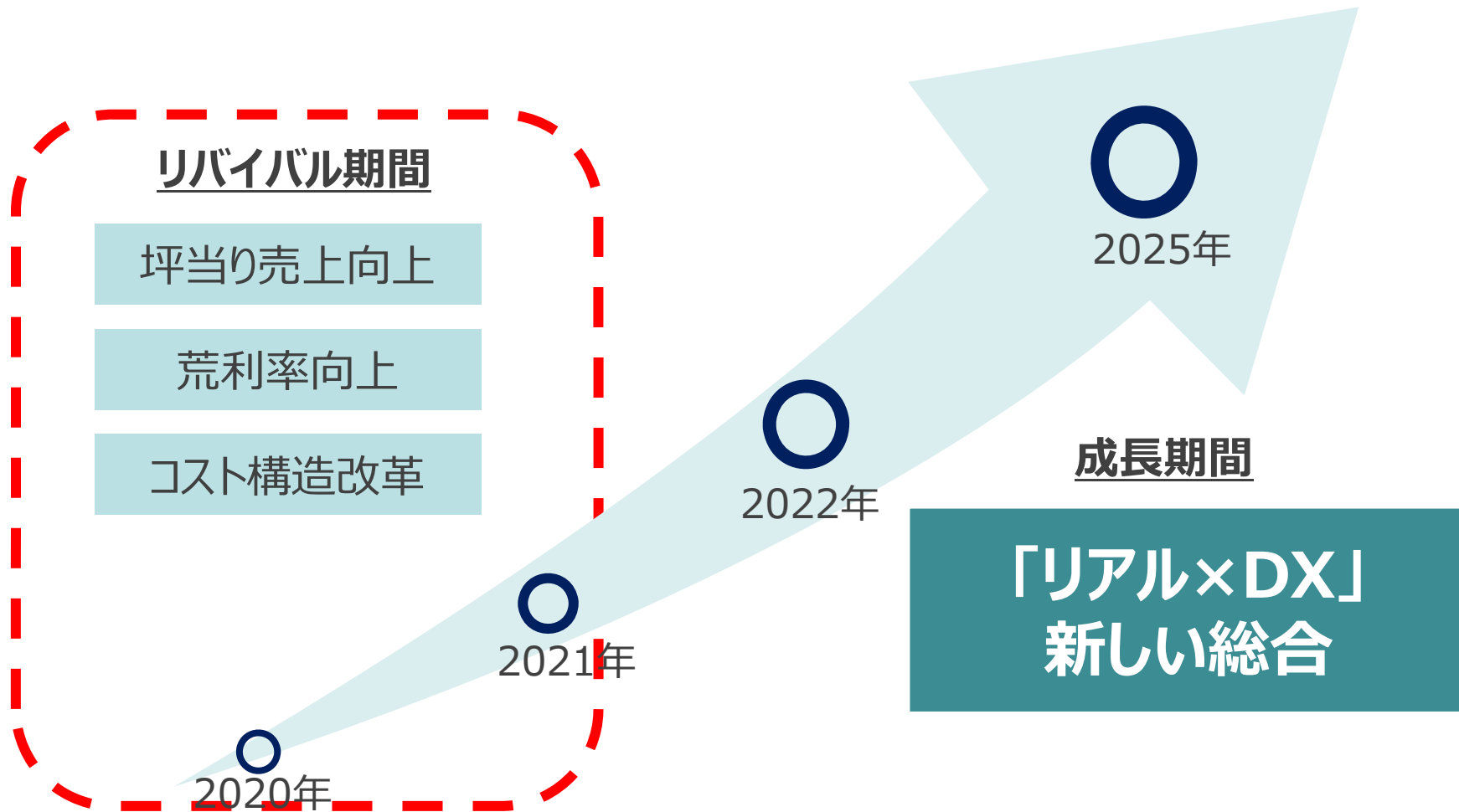
イオンは基本理念のもと、絶えず革新し続ける企業集団として、「お客さま第一」を実践してまいります。

イオンリテール(株)の上期概況 GMS改革の進捗について

イオンリテールが中期で取り組むこと



- ・「リアル」×「DX」で新しい「総合の強み」の創出を目指す
- ・'20年～'21年は「リアル」の問題を解決する期間と位置づけ



上期の営業概況について

・第2四半期売上、荒利益率が大きくトレンド改善し業績回復に寄与

(億円)

	上期	第1四半期	第2四半期
売上高 前期比	▲3.1%	▲5.6%	▲0.7%
テナント収入 前期比	▲19.8%	▲30.1%	▲9.5%
荒利益率 前期比	▲1.2%	▲2.7%	+0.1%
営業利益 前期差	▲254	▲223	▲31

※本年・昨年の東北実績を除いた対比
 ※荒利益率は管理会計上の数値

「新型コロナウイルス防疫プロトコル」に沿った具体的防疫対策実行

夢のある未来へ。
これからも、使命を果たし続けます。

このたびの新型コロナウイルスに罹患された皆さま、感染拡大により生活に影響を受けている地域の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者をはじめ、感染拡大防止にご尽力されている皆さまに深く感謝申し上げます。

当社では、この非常時にイオンブランドが丸となって取り組んだ結果、営業を継続することができました。これもひとえにご協力いただいたお客さまのおかげです。あらためて御礼申し上げます。

今後も感染症が生活に与える影響は続くと考え、人との距離の確保、従業員の健康管理など、引き続き、安心してご利用いただける店舗づくりに努めてまいります。今後は新たに、入店時の検温、レジ精算後のサッカークレーターの開仕切りのほか、ネットスーパーで購入した商品を車から降ろすことなく受け取れるドライブスルー方式の採用、レジに並ばなくても決済できる手段など、「新しい生活様式」に沿ったお買物方法の導入をすすめてまいります。

私たちは創業以来、「お客さま第一」の姿勢を貫いてきました。これからも地域社会のライフラインとしての小売業の使命を果たすため、従業員一人ひとりの力を結集し、地域の皆さまとともに、この難局を乗り越えていきます。夢のある未来に向かって。

イオンリテール株式会社 代表取締役社長 **井出 武美**



- 安全・安心にお買物いただけるよう取り組んでおります。ご協力をお願いいたします。
- 店内ではマスクを着用ください。
 - お肌さま目 手指消毒薬の設置。
 - お肌さま目 手を触れる物手の定期的な消毒。
 - レジカウンターでの飛沫防止シート設置。
 - フードコートは距離を置いてご利用ください。
 - レジは順番を付けてお並びください。
 - 店舗に貼る飛沫の飛沫。
 - エスレターは約40cmの間隔でご利用ください。
- 全従業員が毎日の体調管理と手洗い、うがいを励行しています。

AEON AEON STYLE イオンリテール株式会社

チラシ



飛沫防止 アクリルボード



密接防止 足形

新しい生活様式への対応 ネットスーパーの拡大



- ・社長直轄組織を新設し、拠点拡大をスピードアップ
- ・生鮮を中心に品揃えを充実

おうちでイオン
イオンネットスーパー



ドライブピックアップ



TVCM スタート

ネットスーパー
185店舗
店舗ピックアップ
178店舗
※10月7日時点



鮮魚の詰め合わせセット

ネットスーパー売上
前年比 約1.2倍
うち生鮮売上
前年比 約1.5倍

- ・ランドセルのEC売上が174%増加
- ・母の日の売上はネットがリアル店舗を上回る



新しい生活様式への対応 レジゴー



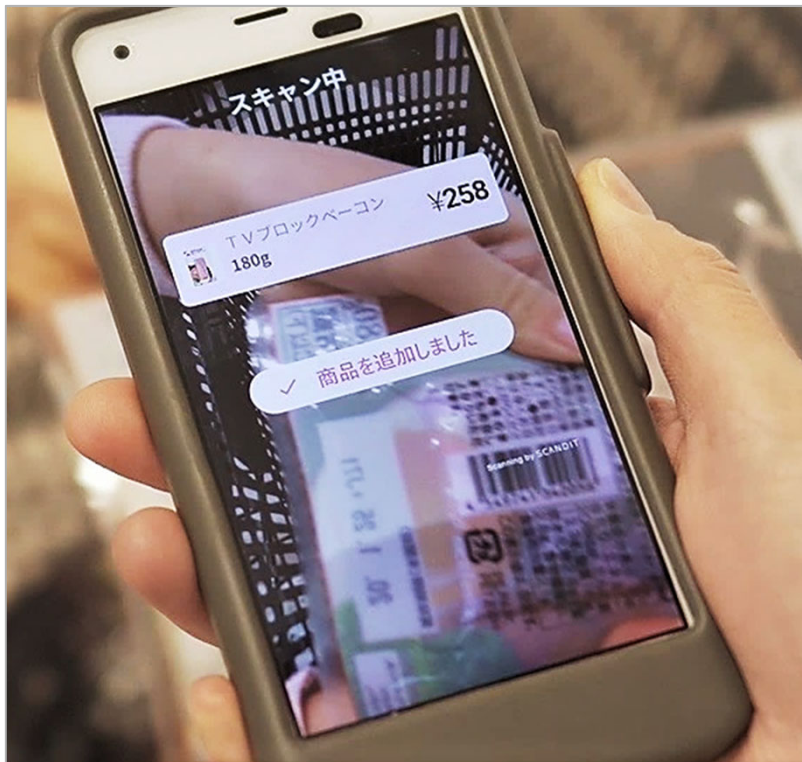
- ・レジ待ち時間、接触機会を削減
- ・レジの省人化により、生産性が向上

14店舗で導入済み

利用率 **30%**

労働時間 **30%削減**

どこでもレジ **レジゴー**



新しい生活様式への対応 マスク



- ・機能だけでなくファッション性も兼ね備えた商品開発
- ・様々なカテゴリーのマスクを集合し、340店舗で実施



- ・ホームコーディから新商品発売
- 高脚こたつはTwitterトレンド入り

HÓME CÓORDY



2色鍋



USBコネクタ等



高脚こたつ

・さらに高まるスポーツ需要へ対応 「スポージアム」全店導入



・スポーツと健康について機能を追求したトップバリュ商品の開発と拡大

QUALITY AND TRUST
TOPVALU
トップバリュ

デイリー使いのスポーツ性能
BODY SWITCH
*この商品は、医療機器ではありません。

PREMIUM
TOPVALU
SELECT
セレクト

CELLIANT®
POWERED BY YOU.

「着る」疲労回復ウェア

一般医療機器

筋肉の疲れを軽減する
セリアント

新しい生活様式への対応 サステナブル



- ・セルフサービス：サステナビリティにつながる商品を拡大
- ・イヴ・ロシェ：イオングループにて日本初独占販売

SELF+SERVICE



YVES ROCHER
FRANCE



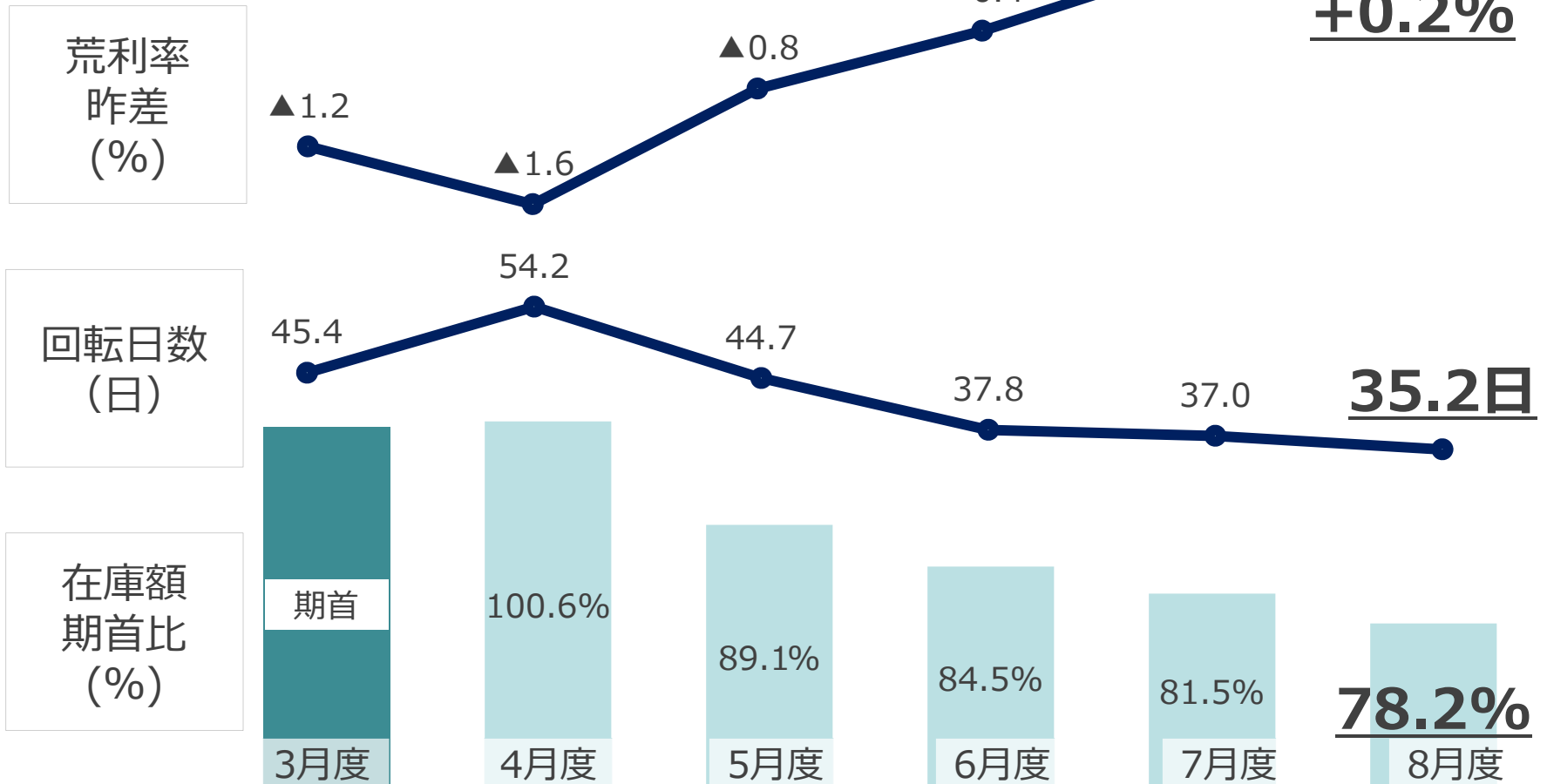
・法改正に先がけ、4月1日より直営全売場でレジ袋無料配布終了



根本的な問題の解決

・仕入れと店頭在庫の適正化を実施

カンパニー計実績



・食品の売上と荒利の伸長をトップバリュでけん引



ごちそう商品 外食需要取り込み

冷凍食品 時短簡便需要に対応

・「コスト削減」と「現場力の強化」を推進

組織体制見直し

- ・本社から店舗へ
人員配置
- ・会議等のオンライン化

DX推進

- ・セミセルフレジ、レジゴー
- ・レジゴー導入
- ・RPA、AIの活用

オペレーション ローコスト化

- ・販促コスト削減
- ・作業の標準化
- ・商品保管コスト削減

本社本部経費計 昨比

21%削減

店舗経費計 昨比

5%削減

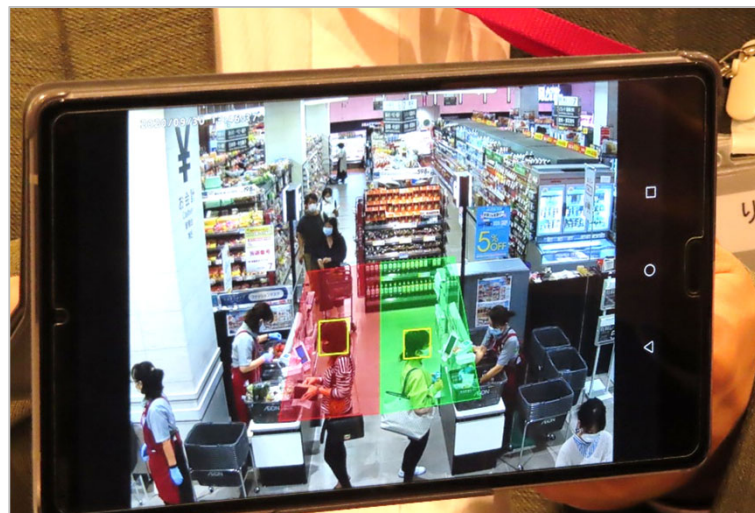
新しい成長を牽引するモデルの推進 イオンスタイル有明ガーデン



サイネージ



ビデオレール



カメラを使った滞在人数把握

参考資料

2020年8月末 連結貸借対照表



(億円)

資産の部 (主要項目のみ)	2020/2	2020/8	前期末差	負債・純資産の部 (主要項目のみ)	2020/2	2020/8	前期末差
現預金	12,219	11,312	▲907	支払手形・買掛金	10,684	9,730	▲953
受取手形・売掛金 (割賦売掛金含む)	16,267	16,412	+145	有利子負債 (金融子会社除く)	19,417	20,704	+1,286
たな卸資産	5,757	5,319	▲438	有利子負債 (金融子会社)	10,649	10,941	+291
営業貸付金・銀行業 における貸出金	24,831	27,085	+2,254	銀行業における預金	37,843	39,325	+1,482
有形固定資産	30,943	30,517	▲425	負債合計	92,134	94,457	+2,323
投資その他資産	9,531	9,786	+254	株主資本	10,258	9,525	▲732
				純資産合計	18,492	17,671	▲821
資産合計	110,626	112,129	+1,502	負債・純資産合計	110,626	112,129	+1,502

参考資料 1

ダイエー再編関連企業の2020年度第2四半期実績



(億円)

事業	社名	営業収益		営業利益	
		実績	前期比	実績	前期差
GMS	イオンリテールストア ※関東、近畿、名古屋の 旧ダイエーGMS	548	-14.6%	-24	+3
	イオンストア九州 ※九州の旧ダイエーGMS ※2020年9月、イオン九州と合併	236	-3.5%	-4	+4
SM	ダイエー	1,573	+6.3%	25	+42

配当予想



		2019年度 (実績)	2020年度
年間配当金	第2四半期末	普通配当 17円 記念配当 1円 計 18円	普通配当 (実績) 18円
	期末	普通配当 17円 記念配当 1円 計 18円	普通配当 (予想) 18円
	合計	普通配当 34円 記念配当 2円 計 36円	普通配当 (予想) 36円

2020年度の執行体制



代表執行役会長		岡田 元也
代表執行役社長		吉田 昭夫
代表執行役副社長	財務・経営管理担当	山下 昭典
	SM・商品物流担当	藤田 元宏
執行役副社長	デジタル・中国担当	羽生 有希
執行役	アセアン担当	岡崎 双一
	物流担当	柴田 英二
	環境・社会貢献・PR・IR担当	三宅 香
	人事・管理担当兼リスクマネジメント管掌	渡邊 廣之

【イオンの防疫の誓い】

AEON

あ
ん
ぜ
ん、
あ
ん
し
ん、
そ
の
先
へ。

感染症拡大 防止への対応

イオンの防疫の誓い

- イオンは、専門家の科学的根拠に基づく助言と最新の知見により、防疫対策を実行します。
- イオンは、防疫対策を全従業員一致団結して実行します。
- イオンは、お客さまと一体となって防疫体制を構築します。
- イオンは、デジタルを活用しお客さまのタッチポイントを減らす施策、社会的な距離を確保した施設への変更などに投資を実施します。

<お客さまへのご協力のお願い>

- 入口での手指の消毒の実施をお願いします
- 店内ではお客さま間での距離確保をお願いします
- 店内でのマスク着用をお願いします
- 体調がすぐれない時は来店をご遠慮ください

【イオン新型コロナウイルス防疫プロトコル】

AEON

イオン
新型コロナウイルス
防疫プロトコル

2020年6月30日発行

<監修>
前世界保健機関 (WHO)
食品安全・人畜共通感染症部長
イオンアドバイザー
国際医療福祉大学医学部公衆衛生学教授
東京理科大学薬学部教授

宮城島 一明
和田 耕治
堀口 遼子

https://www.aeon.info/wp-content/uploads/2020/07/coronavirus_correspondence9.pdf

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている 見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。
- この資料の著作権はイオン株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。